



普及活動の紹介
そうやのひと
●令和3年度北海道指導農業士認定
職員紹介 他

宗谷農業改良普及センターだより 通巻41号 (令和4年6月1日) ■パソコンナンバー 宗谷農業改良普及センターホームページ <https://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/a0005/>

そうやのひと The person of SOYA

令和3年度北海道指導農業士認定

くりき かずたか
～豊富町 栗城一貴さん～

令和3年度北海道指導農業士に、豊富町の栗城一貴さん(41)が認定されました。

栗城さんは、全国有数の乳牛改良技術を持ち合わせており、全道・全国共進会で何度も上位入賞を果たしております。毎年、その知識・技術を学びたい多くの実習生を受入れ、酪農業の担い手育成にも尽力されております。

「地域の後継者や新たな担い手の育成に努め、また、地区・管内の指導農業士の皆さんや関係機関と積極的に情報交換を行い、地域農業の発展に貢献したい」と抱負を語っていただきました。

今後、ますますの活躍が期待されます。



乳牛共進会で授与された数々のトロフィーを前に、これからの抱負を語る栗城さん

職員紹介

お世話になります。
よろしくお願ひいたします。

転入者

宗谷本所 (広域班)



てらだ ひろや
所長 寺田 浩哉
(畜産試験場技術普及室より)



おおた ひろたろう
主任普及指導員 太田 浩太郎
(日高農業改良普及センターより)

(地域係)



いけだ ひでかつ
主査(地域支援) 池田 英勝
(十勝農業改良普及センター
十勝西部支所より)



しばた りな
普及職員 柴田 莉奈
(新規採用)

転出者

お世話になりました。

宗谷本所

吉田 忠 (胆振農業改良普及センターへ)

田中 致 (根室農業改良普及センター
根室北部支所へ)

釣谷 潔 (留萌農業改良普及センターへ)

村上 幸恵 (上川農業改良普及センター
上川北部支所へ)

今号の表紙

東宗谷農協女性部猿払支部経営グループの方々を対象に開催された研修会の一コマ。

研修会のテーマは「育成牛の管理について」でした。参加者同士で、出生直後の子牛の処置は? 母乳量や離乳の方法は??などの意見交換も行われ、活発な研修会となりました。

お知らせ ホームページについて

当センターホームページでは、地域の話や酪農関連の技術情報などを掲載しています。「宗谷農業改良普及センター」で検索、またはQRコードから閲覧できます。



HPIはこちらから

活動紹介

重点活動

中頓別町 松音知地域

良い粗飼料で、乳を搾ろう!!

令和3年度は、重点地域の皆さんと良質粗飼料と生乳生産性の改善に取り組みました。

○良質粗飼料の確保

- 石灰入り肥料銘柄の収量性を確認
小規模の試験ほで慣行肥料を施肥した場合と収量性を比較した結果、石灰入り肥料を施用した方が35%収量性が高まることがわかりました。

○生乳生産性の向上

- 搾乳牛の暑熱対策徹底
送風機の稼働時間の延長やダクトの設置などの改善を提案しました。実践されたA農場では、暑熱ストレスを受ける前（6月）と比較して夏（7～9月）の個体乳量の減少が2%にとどまりました（未対応の農場では4%減少）。



牛舎内のダクト (A農場 R3)



石灰入り肥料の散布 (C農場 R4)

- 乾乳牛への粗飼料飽食の徹底
乾乳牛に対し農場が所有する粗飼料の中で一番品質の良いものを与えるように変更し、さらに給与量も増やすことを提案しました。
改善に取り組んだB農場では、分娩後60日間の個体乳量が6%増加しています。
令和4年度は、前年の取組をステップアップし、石灰入り肥料銘柄の実規模での実証や搾乳牛のカウコンフォート（牛の安楽性）の徹底、乾乳牛の飼養改善による死廃頭数の削減などを推進し、地域の課題解決につなげたいと考えています。

豊富町 目梨別地域

生産効率アップで人も牛も快適に

令和3年度は、地域の皆さんと様々な取組を実施してきました。その一部を紹介します。

○施設整備による飼養環境の改善

- 乳牛の快適性確保による生産性向上を目的として飼養環境の改善について提案を行いました。カウトレーナーやネックレールの位置調整などによりストレスの軽減や採食量の向上へ向けた取組を行い、改善が図られました。



ネックレール調整で首の擦り傷もなくなりました

○栽培技術向上による良質粗飼料の確保

- 植生調査の結果から植生マップを作成し、牧草草種特性に応じた収穫順番の検討や調製の支援を行いました。
- 施肥量や銘柄など施肥改善提案を実施したほ場では、1番草生草収量が平年比105%と増収しました。
- 品質の確保を目的にサイレージ添加剤投入量の適正化支援を行いました。開封された1番草サイレージの発酵品質は、Vスコア平均80点以上となりの良質な粗飼料を確保することができました。



植生調査を実施。農業者と一緒に草地を歩き多くの話を聞くことができました

令和4年度は、既存牛舎の改修や牛舎新築に向けた検討、施肥改善支援とサイレージ調製支援・草地更新計画支援等により生産性や所得の向上を目指します。

活動紹介

広域活動

担い手

多様な担い手への支援・農業生産法人への活動支援

担い手担当では、多様な担い手への支援、農業生産法人への活動支援を柱に活動しています。
令和4年度の多様な担い手への取組は、新規就農者の確保として宗谷酪農セミナーや新規就農相談会でのPR活動の継続、新規就農者の技術定着としてSOYAルーキーズ☆カレッジを開催します。また、宗谷4Hクラブ連絡協議会や宗谷農村女性連絡会議（ff宗谷）、宗谷管内指導農業士・農業士会の運営及び研修交流会の開催などを支援します。
令和4年度の農業生産法人への取組は、法人ネットワークや宗谷TMRセンター連絡会に対し、

組織運営を支援します。
コロナ禍で制約のある中での活動となりますが、オンラインなどを活用しながら、対象者の要望に応じた支援を行い、満足がいくよう、研修・交流の場を提供します。



今春開催のff宗谷研修会。久しぶりの開催でした

情報・クリーン・有機

普及情報の発信と畜産GAPの普及推進

情報担当では、普及センターだより、FAX情報、ホームページ（以下HP）などにより酪農技術情報や普及活動の様子などを発信しています。
令和3年度は、デノボの活用に向けた記事や暑熱対策などタイムリーな情報の提供を行いました。また、HPでは、より多くの方に閲覧していただくため、動画の掲載などにより、コンテンツの充実化を図りました。その結果、HPのアクセス数は2年前の3倍に増えました。
令和4年度は、HPで酪農技術情報を月1回以上掲載する計画です。普及センターだよりやFAX情報と併せて、農業者の皆様役に役立つ情報を提供していきたいと考えています。

クリーン・有機担当では、令和3年度から身近なGAP情報による啓発活動と農場マニュアル作成などGAPの取組支援を行っています。
令和4年度もGAPの啓発と取組支援を継続します。希望があれば研修会の対応もできますので、普及センターまでお声かけください。



HP掲載のGAP紹介の動画



身近なGAP情報閲覧は、QRコードから

高付加価値化

地域資源を活かした付加価値活動の推進

高付加価値化担当では、付加価値活動実践者の支援と事例収集、チーズマニュアルの作成、中頓別町における醸造用ぶどうの栽培支援を行っています。

培を通してどのような地域活性化を検討するか、引き続き、普及センターとしても取組をサポートしていきます。

【今年度の主な計画活動】

- チーズ製造に関する技術支援を継続します。研修会をリニューアルし、製造技術のほか衛生管理や生乳生産など、チーズ製造を様々な角度から学べるよう企画していきます。チーズマニュアルは、年度内完成の予定です。
- 醸造用ぶどうの取組は、このほど、町民を交えた研究会組織の準備会を立ち上げ、地域振興検討の新たな一歩を踏み出しました。今後、ぶどう栽



昨年のチーズ研修会。Webでも実施しました